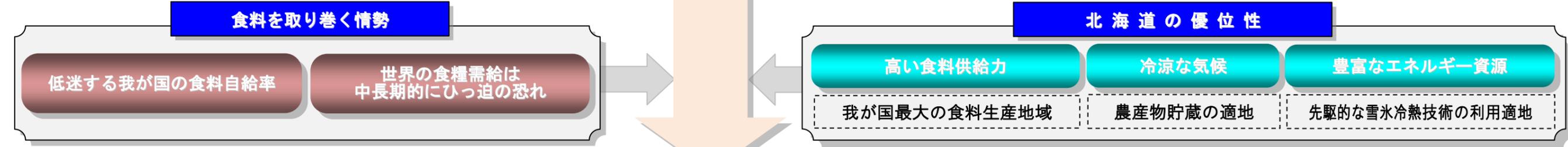
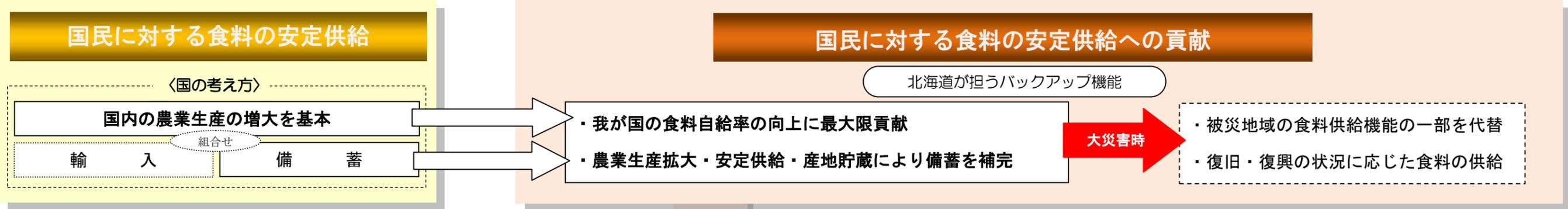


わが国の食を支え災害時にも農産物の安定供給に貢献する
力強い食料生産地域、北海道の確立をめざして
 - 北海道食料備蓄基地構想 -

国の責務

北海道の果たすべき役割



本道における食料備蓄の基本的な視点



本道における食料備蓄の方向性

本道の農業生産力向上によるバックアップ機能の強化		雪氷冷熱等による農産物備蓄の推進		食料備蓄に対する国民理解の促進
<p>需要に応じた農業生産の拡大 気候変動に強い生産構造の確立</p> <p>農地・農業水利施設等の適切な保安全管理と農業生産基盤の整備</p> <p>国際競争力を高める品種や生産技術等の開発とその円滑な普及</p> <p>将来にわたって意欲と希望をもって営農できる多様な担い手を育成・確保</p>	<p>農業の6次産業化の推進 一年を通じた出荷体制の確立</p> <p>加工適性に優れた品種の開発や農産物の品質保持技術の開発</p> <p>農産物集出荷貯蔵施設・加工施設等の整備や産地体制の構築</p> <p>食クラスター活動の推進と北海道ならではの食の総合産業の形成の加速</p>	<p>雪氷冷熱による長期貯蔵を活用しながら米の道内備蓄を推進</p> <p>備蓄米生産に取り組みやすい環境整備など、多様な米生産体制の確立</p> <p>雪氷冷熱を活用した米貯蔵施設の導入支援</p>	<p>道産農産物の貯蔵への再生可能エネルギー利用の推進</p> <p>再生可能エネルギーを活用した農産物貯蔵に関する研究開発</p> <p>農産物貯蔵施設等への再生可能エネルギー導入促進</p> <p>「流通型食料備蓄システム」の構築と地域への円滑な導入支援</p>	<p>農業・農村を国民全体で支える気運の高揚</p> <p>国内外の食料事情のわかりやすい情報提供による国民理解の醸成</p> <p>消費者と生産者等との結び付きを強化する「愛食運動」の総合的な推進</p>